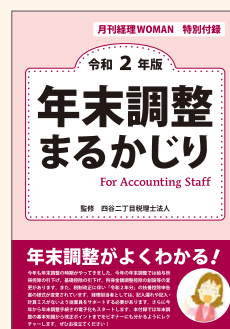


12月号のオススメ記事 ①

特別付録／令和2年版「年末調整まるかじり」

今年も年末調整の時期がやってきました。今年の年末調整では給与所得控除の引下げ、基礎控除の改正、所得金額調整控除の創設等の変更があります。また、税制改正に伴い「令和3年分」の扶養控除等(異動)申告書の様式が一部変更されています。さらに今年から年末調整手続きの電子化もスタートします。本付録では年末調整の基本知識から改正ポイントまでをビギナーにも分かるようにレクチャーします。ぜひお役立てください！

◎この記事で理解できること…年末調整の基本知識／今年の年末調整の注意点／年末調整の手順／税額計算と過不足計算のやり方／税額納付と納付書の書き方／令和3年以降の源泉徴収事務／実務でよくある疑問に答えます



12月号のオススメ記事 ②

その科目で大丈夫？ 費用か資産かで税額が変わってくる！
「修繕費」と「資本的支出」の違いが理解できる30分セミナー

オフィスや店舗などが古くなったときや機械設備が老朽化したときなどに、改装や修繕を行なうことがあります。この場合、かかった費用がすべて修繕費という経費に該当するわけではありません。場合によっては経費ではなく、固定資産の資本的支出として処理する必要があります。修繕費と資本的支出の判断を間違えると税額にも影響してきます。ここでは修繕費と資本的支出の違いから判断ポイントまでを解説します。

◎この記事で理解できること…修繕費と資本的支出の違いについて／修繕費と資本的支出—どちらが税金が安くなる？／修繕費と資本的支出の経理処理／修繕費と資本的支出—判断ポイントは？／修繕費が資本的支出かを判断するためのフローチャートとその説明／その他、上記テーマに関連して経理担当者の心得



12月号のオススメ記事 ③

Web会議システムからビジネスチャットまで いろいろあります
「リモートワーク」を導入するときに活用したい便利ツール

「リモートワーク(テレワーク)」は働き方改革などでも提唱されてきましたが、なかなか普及が進みませんでした。しかし、今年に入ってからの新型コロナ禍で一気に普及が進みました。その背景にはコロナ禍だけでなく、インターネット環境が整いIT技術が飛躍的に進化したこともあります。「リモートワーク」には、コミュニケーションロスや勤怠管理などの問題が指摘されますが、こうしたITツールを活用することで、ある程度弊害を防ぐこともできます。「リモートワーク」を導入するときに活用したい便利ツールをご紹介します。

◎この記事で理解できること…リモートワークの普及が進んでいること／リモートワークをスムーズに導入するにはITの活用が不可欠だということ／いろいろあります リモートワークにおススメの便利ツール／その他、中小企業へのアドバイス



12月号のオススメ記事 ④

毎月一生懸命作ってるその資料、本当に必要なの？
「経理業務の効率化」—このポイントを押さえれば実現できる!!

コロナ禍で売上が減少するなかで、あらゆる業務の効率化や経費削減が求められています。それは経理業務も同様です。「以前からこの方法でやってきたから」「やり方を大きく変えるのは手間だから」…。そんな理由で非効率な仕事を続けることは許されない時代になっているのです。むしろこのコロナ禍を奇貨として、無駄な業務を洗い出し、思い切った効率化を図るべきではないでしょうか。ここでは経理業務を効率化するためのポイントをレクチャーします。

◎この記事で理解できること…非効率な経理業務が意外と多いということについて／なぜ非効率な経理業務を続けてしまうのか／効率化を意識しないとどんな事態を招くのか／経理業務の効率化の着眼点・ポイントとは／その他、経理担当者へのアドバイス

